

大阪・駒川のカフェで「肩たたき券」付きメニュー 11/20開始 子どもが券を使えば「駄菓子引き換え券」に。多世代の交流促進

社会福祉法人 浪速松楓会（住所：大阪市東住吉区、理事長：鯉谷 雅至）が運営する、"子どもの居場所"カフェ「駒川てっと」（大阪市東住吉区西今川4-22-11）において、11月20日（木）から「トントン駄菓子サービス」を始めます。飲食メニューを注文したお客様に「肩たたき券」をお渡しし、お店にいる子どもがそれを使って肩たたきをすると、駄菓子引き換え券になるサービスです。



「トントン駄菓子サービス」利用イメージ

■世代を超えたコミュニケーションがもっと生まれてほしいと企画

「駒川てっと」は子どもたちが学校や自宅ではない場所で、安心して楽しく過ごせる「第3の居場所」として2024年8月にオープンしました。店内には小上がりを設け、絵本や玩具、タブレット端末などを揃えて子どもが楽しく過ごせる空間を用意。午前から昼間は近隣住民の方を中心力カフェを利用し、15時過ぎからは小学生など子どもたちがたくさん遊びに来ます。就労支援B型作業所としての機能もあり、障がいをお持ちの方々が支援員サポートのもと、自分たちの得意なことを活かし調理や清掃、配膳などの業務に携わっています。



当法人では「一人一人の居場所づくり」を軸に、他にも介護施設や保育園などの事業を展開しています。多世代が来店する当カフェにおいては「もっとさまざまな世代の間で交流が生まれてほしい」という思いがあり、「トントン駄菓子サービス」を企画しました。券の表は、就労支援の障がいのあるメンバーが手書きで書いた感謝の言葉を。裏面は「肩たたき券」となっています。お客様が子どもに直接肩たたき券を渡すのはハードルが高いと考え、掲示ボードを設置します。いずれは「おばちゃん、肩たたこうか?」「ありがとう、ほなお願ひね」「学校でうれしいことあってん、聞いてくれる?」といったコミュニケーションが生まれることを期待しています。

■「トントン駄菓子サービス」詳細

開始日：2025年11月20日（木）より

運用方法：料理提供の際に「サンクスカード」（裏側は肩たたき券）をお客様に渡します

お客様はお店にいる子どもに直接券を渡す、もしくは掲示ボードにそれを貼ります

子どもは券を持ってお客様のほうへ行き、お客様がOKすれば肩たたきスタート

30秒を目安に肩たたき（今日あったことなど、何でもよいので会話してもらいます）

終了後にその券を駄菓子コーナーに持っていくと、50円以下の駄菓子と交換できます

■駒川てつとについて

近年社会情勢の変化に伴い、子どもたちは自己肯定感が不足していたり、さまざまな体験格差がある状況にいると言われています。子どもたちが「学校や自宅ではない場所」で、安心して楽しく過ごせる場所づくりを目指しています。



孤食を減らしたい思いから、週に3日子ども食堂を開店。子どもを対象に100円で食事を提供しています



靴を脱いで上がる小上がりには、子どもたちが遊べるおもちゃやマンガが揃っています



店内にある駒菓子の販売コーナー。遊びに来て、ちょっとお腹が空いた時のおやつとして人気です



「駒川てつと」施設外観

■法人概要

名 称：社会福祉法人 浪速松楓会
 代表者：理事長 鯉谷 雅至
 所在地：〒546-0013 大阪市東住吉区湯里2-18-3-1F
 電話番号：06-6769-6377
 認 可：2006（平成18）年1月16日
 運営施設：寿幸苑（特別養護老人ホーム）
 　　ライフェル駒川（サービス付き高齢者向け住宅）
 　　サボテンの花（グループホーム）
 　　寿幸苑ヘルパーステーション（訪問介護）
 　　寿幸苑居宅介護支援事業所（居宅介護）
 　　まつとかえでの保育園（企業主導型保育園）
 　　駒川てつと（就労継続支援B型/子どもの居場所/カフェ）



●取材に関するお問い合わせ●

駒川てつと 広報事務局 担当：辻本・田村 TEL：06-4708-3766 E-mail:pr@raple.co.jp